

日時：平成21年4月10日（金） AM 11:00

場所：小金井公園後継樹育成苗圃

参加者：青木俊江、荒井都志子、
佐藤信二郎（記）

目的：3月5日に接木した13本のソメイヨシノの生育状況の確認。苗圃には、オオシマザクラの台木の上に差し込まれた上北沢桜並木のソメイヨシノが13本ある。今回は、接木作業の約1ヵ月後の活着状況と生育状況を確認し、今後の作業の参考とする。



作業内容：接木後の養生方法は寒冷紗¹をかぶせた通気性のあるトンネル形式の接木養生床にあり、更に、接木の上には小さなビニールがかぶせて生育されていた。

その寒冷紗を30cmほどたくし上げ、13本の接木を観察した。

結果： 9本 芽から若葉がでていた。
4本 葉芽が黒く死んでいた。
合計 13本 : 活着率は、69%

感想：・広々としたすばらしい環境にある桜の苗圃
小金井桜守の会の伊東正義さん達の暖かい養生に守られて9本の上北沢桜並木ソメイヨシノの子供が誕生した。4本の接木は失敗した。1WK程乾燥した日々が続いたせいでもあり、やはり接木接合部分がうまく合わなかったのではないかと。

でも何とか、9本のソメイは育っている。近くにいて水やりをしたいが、お願いするしかない。

写真3枚：活着し、若葉の葉が出ている。



¹ 寒冷紗：薄い布状の膜。遮光、防霜、防虫、暴風・防雨の効果などがあります。



2. 写真2枚：枯れ枝のようになっている。

